

ブックトークに向けたカードをつくる学習活動

◇国語科「文章を読み、その魅力を伝え合おう」：小学校5年

◇ねらい：文章の魅力を紹介カードにまとめて交流することで、効果的に用いられる表現について考えを広げることができる。

◇ICTの活用により期待される効果

- ・学習者用端末に教師用デジタル教科書の教材文や写真を配信することで、児童が必要に応じて文章を引用し、カードをつくることができる。
- ・端末上で互いのカードを共有することで、その内容を主体的に見比べ、自分の考えを広げたり、修正の際の参考にしたりすることができる。

◇使用する機能：端末へのデータ配信、データ提出、データの共有

◇使用するアプリ等：学習支援アプリ



学習活動例

		活動内容	活用ポイント／留意点
導入	一斉 前時の振り返り	1 前時の振り返り ・「音の表現」「筆者の心情」「文章表現」の文章を読む視点を再確認する。	・前時に確認した文章を読む際の視点を大型提示装置に提示し、本時の学習に結び付ける。
	一斉 課題の確認	2 本時の課題の確認 課題：お話の魅力について、視点を基に交流し、カードに生かそう。	
展開	個別 考えの整理 カードの共有	3 自分の考えの整理 ・必要に応じて教科書の本文や写真を引用し、自分の考えをカードにまとめる。	・カードに引用できるように、学習者用端末に教師用デジタル教科書の教材文を配信する。 ・互いのカードを共有させ、書き方や内容を自由に見比べることができるようにする。 ・付箋機能を使ってコメントを付ける。
	グループ コメントの交流	4 交流 ・3つの視点から自分のカードの中で特に着目してほしい部分を拡大し、学習者用端末で提示しながら説明する。 ・視点に沿って互いのカードのよいところやアドバイスを伝え合う。	
まとめ	個別 カードの修正	5 カードの修正 ・次時の全体での紹介に向けて、友達からのアドバイスを基に、必要に応じて修正する。	・カードと振り返りシートをデータで提出するように伝える。 ・カードや振り返りシートの記述から、児童の変容を捉え、評価に生かす。
	個別 振り返り	6 本時の振り返り ・交流を通して考えたことや修正の意図等を入力する。	